



平成30年度

エコアクション21
環境経営レポート

(平成30年4月～平成31年3月)



一般財団法人 福岡県浄化槽協会

作成日 令和元年7月8日

目 次

I	組織の概要.....	1
II	認証・登録の対象範囲、実施体制	2
III	環境経営方針	3
IV-1	環境経営目標に対する実績・評価.....	4
-2	環境負荷実績の推移	9
V	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	10
VI	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	17
VII	代表者による全体評価と見直しの結果	18

I 組織の概要

1 名称・所在地

一般財団法人福岡県浄化槽協会

<http://www.fjkyo.or.jp/>

理事長 三浦 正史

福岡検査センター（事務局含む）

〒811-2412 糟屋郡篠栗町大字乙犬 966-7

筑後検査センター

〒839-0801 久留米市宮ノ陣 3-2-38

筑豊検査センター

〒825-0004 田川市大字夏吉 422-7

2 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境マネジメント責任者 山本 直隆

環境管理責任者 梅崎 誠治

連絡先 (092) 947-1800 FAX (092) 947-3636

3 事業概要

当協会は、昭和 52 年 2 月 4 日に財団法人福岡県浄化槽協会として設立し、平成 24 年 4 月 1 日に一般財団法人福岡県浄化槽協会に移行しました。

主な事業は、浄化槽に関する正しい知識の普及啓発のほか、福岡県内（北九州市及び大牟田市を除く）に設置された浄化槽を対象とした浄化槽法第 7 条及び第 11 条に基づく検査（昭和 61 年 3 月に福岡県知事から同法第 57 条に基づく指定検査機関として指定）、および福岡県浄化槽法施行細則第 9 条に基づく浄化槽放流水の水質検査（昭和 55 年に計量法 107 条に基づく濃度計量証明事業所として登録）などを行っています。

4 事業規模

	単位	福岡検査センター （事務局含む）	筑後検査センター	筑豊検査センター	合計
売上高	百万円	114	358	399	871
従業員	人	21	20	20	61
床面積	m ²	498	1,224	1,045	2,767
公用車 数	台	7	10	10	27

Ⅱ 認証・登録の対象範囲、実施体制

1 取組の対象事業所

◎ 福岡検査センター

〒811-2412
糟屋郡篠栗町大字乙犬 966-7

◎ 筑後検査センター

〒839-0801
久留米市宮ノ陣 3-2-38

◎ 筑豊検査センター

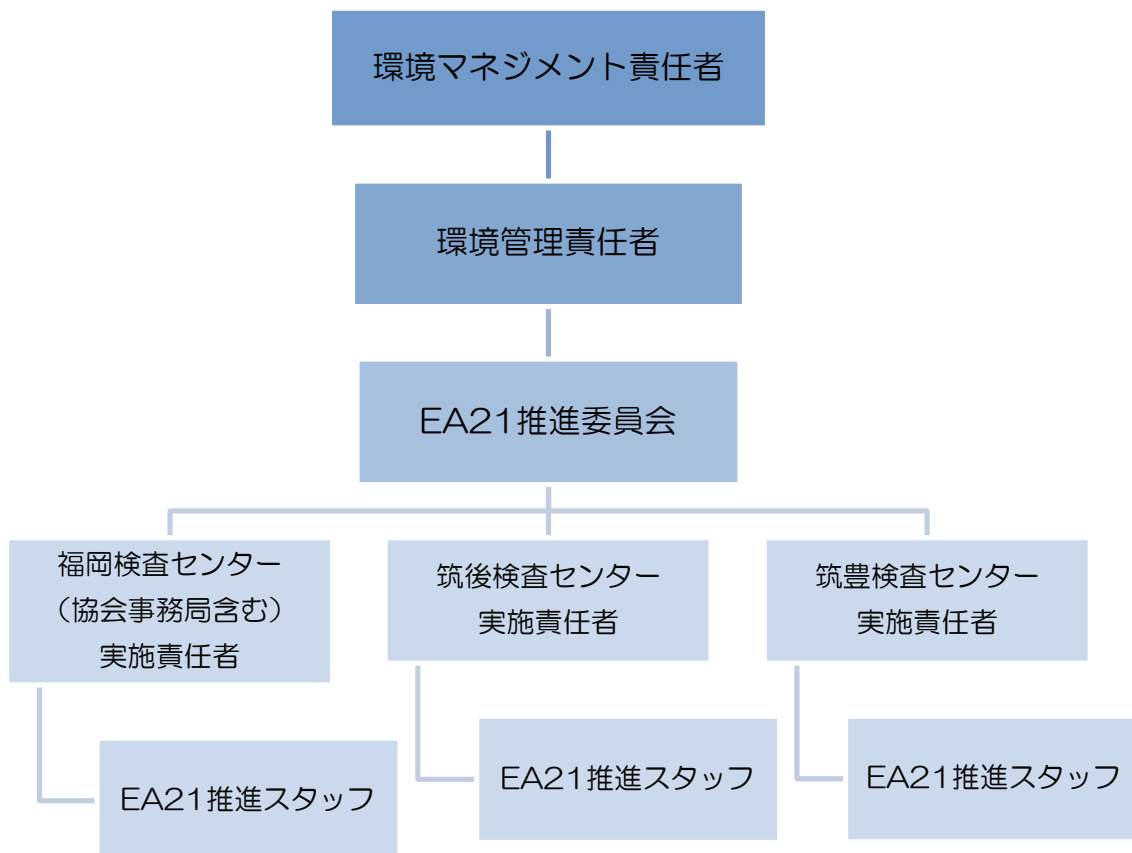
〒825-0004
田川市大字夏吉 422-7



2 取組の事業活動

浄化槽法に基づく検査、県細則に基づく濃度計量証明事業、
浄化槽の調査研究及び技術指導、
環境改善に関する調査研究・技術指導・普及啓発

3 実施体制



(平成30年4月1日現在)

Ⅲ 環境経営方針

環 境 経 営 理 念

当協会は水環境の保全を通じて持続可能な社会作りに貢献するとともに、基本理念「美しい水環境の創造へ」の実現を目指します

環 境 経 営 方 針

浄化槽の普及・啓発に努めます 【重点項目】

浄化槽の適正な維持管理の推進に努めます 【重点項目】

浄化槽に関する最新の知見・情報の提供に努めます 【重点項目】

二酸化炭素排出量の削減に努めます

廃棄物排出量の削減に努めます

水使用量の削減に努めます

化学物質使用量の適正管理に努めます

環境関連法規を遵守します

環境経営の継続的改善を実施します

改訂日 平成 30 年 4 月 1 日

一般財団法人 福岡県浄化槽協会

専務理事 古賀政利

Ⅳ-1 環境経営目標に対する実績・評価

【全体】

重点項目/環境負荷項目		単位等	H30 目標	H30 結果	達成 状況	R1 目標	R2 目標
② 適正な維持管理の推進 ① 浄化槽の普及・啓発	11 条検査	件数	110,100	112,865	😊	111,665	113,252
	出前講座	回数	35	38	😊	38	38
	環境フェア	回数	10	10	😊	10	10
	適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	回数	10 9	9	😊	10 9	10 9
	スリ・ニグ 検査の削減	発生率 (%) 以下	6.2	7.5	😞	7.1	6.5
	「無管理」浄化槽の 削減	(%) 以下	6.4	7.2	😞	29 年度実績 から算出	30 年度実績 から算出
③ 浄化槽に関する 最新の知見・ 情報の提供	指定採水員指定講習 会(更新)兼 浄化槽技術研修会	受講者 満足度 (%)	55	66.8	😊	50	65
	BOD 超過原因調査	改善 事例	5	11	😊	5	5
	調査研究	実施数	6	7	😊	6	6
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	302,270	245,956	😊	301,917	301,627
電気使用量 排出係数 0.617 (kg-CO ₂ /kWh)		kWh	460,207	366,656	😊	459,747	459,286
ガス使用量 排出係数 0.0161 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 50.8 (MJ/L)		kg	7,069	6,155	😊	7,062	7,056
ガソリン使用量 排出係数 0.0183 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 34.6 (MJ/L)		L	19,707	20,147	😞	26 年度実績	27 年度実績
廃棄物排出量		kg	1,269	1,085	😊	1,266	1,265
可燃ごみ		kg	1,183	1,046	😊	1,180	1,179
不燃ごみ		kg	86	39	😊	86	86
水使用量		m ³	2,522	2,436	😊	2,520	2,518
化学物質使用量			適正管理	適正管理	😊	適正管理	適正管理

【福岡検査センター】

重点項目/環境負荷項目		単位等	H30 目標	H30 結果	達成 状況	R1 目標	R2 目標
② 適正な維持管理の推進 ① 浄化槽の普及・啓発	11 条検査	件数	17,030	14,558		17,940	14,331
	出前講座	回数	32	35		32	32
	環境フェア	回数	5	5		5	5
	適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	回数	6 5	5		6 5	6 5
	スリーピング 検査の削減	発生率 (%) 以下	5.0	6.5		5.0	5.8
	「無管理」浄化槽の 削減	(%) 以下	筑紫 5.9 宗像遠賀 21.8	筑紫 7.4 宗像遠賀 19.9		29 年度実績 から算出	30 年度実績 から算出
③ 浄化槽に関する 最新の知見・ 情報の提供	指定採水員指定講習 会(更新) 兼 浄化槽技術研修会	受講者 満足度 (%)	55	66.8		60	65
	BOD 超過原因調査	改善 事例	1	2		1	1
	調査研究	実施数	2	3		2	2
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	61,424	55,500		61,369	61,310
電気使用量 排出係数 0.617 (kg-CO ₂ /kWh)		kWh	94,625	84,885		94,531	94,436
ガス使用量 排出係数 0.0161 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 50.8 (MJ/L)		kg	219	159		219	218
ガソリン使用量 排出係数 0.0183 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 34.6 (MJ/L)		L	4,524	4,732		26 年度実績 99.9%	27 年度実績 99.9%
廃棄物排出量		kg	456	409		455	455
可燃ごみ		kg	434	389		433	433
不燃ごみ		kg	22	20		22	22
水使用量		m ³	583	539		583	582
化学物質使用量			適正管理	適正管理		適正管理	適正管理

【筑後検査センター】

重点項目/環境負荷項目		単位等	H30 目標	H30 結果	達成 状況	R1 目標	R2 目標
②適正な維持管理の推進 ①浄化槽の普及・啓発	11 条検査	件数	50,439	51,074	😊	49,750	53,616
	出前講座	回数	3	3	😊	3	3
	環境フェア	回数	3	3	😊	3	3
	適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	回数	2	2	😊	2	2
	スリーピング 検査の削減	発生率 (%) 以下	5.9	7.6	😐	7.9	6.3
	「無管理」浄化槽の 削減	(%) 以下	北筑後 5.9 南筑後 2.3 久留米 7.8	北筑後 6.2 南筑後 3.3 久留米 8.0	😐	29 年度実績 から算出	30 年度実績 から算出
③浄化槽に関する 最新の知見・ 情報の提供	指定採水員指定講習 会(更新)兼 浄化槽技術研修会	受講者 満足度 (%)	—	—	—	—	—
	BOD 超過原因調査	改善 事例	2	4	😊	2	2
	調査研究	実施数	2	2	😊	2	2
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	133,834	132,008	😊	133,705	133,576
電気使用量 排出係数 0.617 (kg-CO ₂ /kWh)		kWh	200,347	197,893	😊	200,147	199,946
ガス使用量 排出係数 0.0161 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 50.8 (MJ/L)		kg	6,350	5,536	😊	6,343	6,337
ガソリン使用量 排出係数 0.0183 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 34.6 (MJ/L)		L	7,939	8,659	😐	26 年度実績 99.5%	27 年度実績 99.5%
廃棄物排出量		kg	368	282	😊	367	367
可燃ごみ		kg	328	270	😊	327	327
不燃ごみ		kg	40	12	😊	40	40
水使用量		m ³	1,109	1,095	😊	1,108	1,107
化学物質使用量			適正管理	適正管理	😊	適正管理	適正管理

【筑豊検査センター】

重点項目/環境負荷項目		単位等	H30 目標	H30 結果	達成 状況	R1 目標	R2 目標
②適正な維持管理の推進 ①浄化槽の普及・啓発	11 条検査	件数	42,631	47,233	😊	43,975	45,305
	出前講座	回数	—	—	—	3	3
	環境フェア	回数	2	2	😊	2	2
	適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	回数	2	2	😊	2	2
	スリーピング 検査の削減	発生率 (%) 以下	7.0	7.7	😐	8.4	7.2
	「無管理」浄化槽の 削減	(%) 以下	嘉穂鞍手 6.2 京築 10.9	嘉穂鞍手 7.7 京築 9.7	😐	29年度実績 から算出	30年度実績 から算出
③浄化槽に関する 最新の知見・ 情報の提供	指定採水員指定講習 会(更新)兼 浄化槽技術研修会	受講者 満足度 (%)	—	—	—	—	—
	BOD 超過原因調査	改善 事例	2	5	😊	2	2
	調査研究	実施数	2	2	😊	2	2
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	106,946	58,448	😊	106,843	106,741
電気使用量 排出係数 0.617 (kg-CO ₂ /kWh)		kWh	165,235	87,186	😊	165,069	164,904
ガス使用量 排出係数 0.0161 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 50.8 (MJ/L)		kg	500	460	😊	500	500
ガソリン使用量 排出係数 0.0183 (kg-CO ₂ /MJ) 単位 発熱量 34.6 (MJ/L)		L	7,244	6,756	😊	26年度実績	27年度実績
廃棄物排出量		kg	445	394	😊	444	444
可燃ごみ		kg	421	387	😊	420	420
不燃ごみ		kg	24	7	😊	24	24
水使用量		m ³	830	802	😊	829	829
化学物質使用量			適正管理	適正管理	😊	適正管理	適正管理

【備 考】

※四捨五入して、整数としている。

※電気使用量の二酸化炭素排出係数は、「2013 年度九州電力の実排出係数 0.617kg-CO₂/kwh」

※ガソリン使用量の令和元年及び2年の目標値は、二酸化炭素排出量の計算の為、平成30年度の値で計算している。

※平成 30 年度の基準値設定は、以下のとおりとした。

項目/各センター	福岡検査センター	筑後検査センター	筑豊検査センター
11 条検査	H28 年度実績値	H28 年度実績値	H28 年度実績値
出前講座	H28 年度実績値	H30 年度実績値	H30 年度実績値
環境フェア	H28 年度実績値	H30 年度実績値	H30 年度実績値
適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	H30 年度目標値	H30 年度目標値	H30 年度目標値
スリーピング 検査の削減	5 年前の発生率	5 年前の発生率	5 年前の発生率
「無管理」浄化槽の削減	H28 年度無管理率	H28 年度無管理率	H28 年度無管理率
指定採水員指定講習会 (更新) 兼浄化槽技術研集会	—	—	—
BOD 超過原因調査	H30 年度目標値	H30 年度目標値	H30 年度目標値
調査研究	H30 年度目標値	H30 年度目標値	H30 年度目標値
電気使用量	H28 年度実績値×99.9%	H29 年度実績値×99.9%	H29 年度実績値×99.9%
ガス使用量	H28 年度実績値×99.9%	H29 年度実績値×99.6%	H29 年度実績値×99.9%
ガソリン使用量	H25 年度実績値×99.9%	H25 年度実績値×99.5%	H25 年度実績値×99.8%
廃棄物排出量	H29 年度実績値×99.9%	過去 5 年間の平均値	H29 年度実績値×99.9%
水道水使用量	H28 年度実績値×99.9%	H29 年度実績値×99.6%	H29 年度実績値×99.9%

※凡例



: 達成



: 未達成

Ⅳ-2 環境負荷実績の推移

【福岡検査センター】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延べ床面積	m ²	498	498	498	498
職員数	人	24	24	24	21
公用車台数	台	6	7	7	7
水質検査件数	件	12,196	14,822	18,198	10,753
外観検査件数	件	1,662	1,615	1,138	3,805
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	67,904	62,746	66,870	55,500
電気使用量	kwh	93,721	94,720	89,944	84,885
ガス使用量	kg	256	219	186	159
ガソリン使用量	ℓ	4,171	5,201	4,814	4,732
灯油使用量	ℓ	-	-	-	-
廃棄物使用量	kg	433	488	456	409
水道水使用量	m ³	492	586	584	539

【筑後検査センター】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延べ床面積	m ²	1,224	1,224	1,224	1,224
職員数	人	18	18	18	20
公用車台数	台	11	9	10	10
水質検査件数	件	35,748	42,998	38,590	39,071
外観検査件数	件	16,180	6,601	15,777	12,003
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	131,713	119,039	157,849	132,008
電気使用量	kwh	162,402	165,785	200,548	197,893
ガス使用量	kg	4,598	5,409	5,290	5,536
ガソリン使用量	ℓ	7,907	6,577	8,248	8,659
灯油使用量	ℓ	-	-	-	-
廃棄物使用量	kg	470	275	243	281
水道水使用量	m ³	1,200	862	886	1,095

【筑豊検査センター】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延べ床面積	m ²	553	→1045（7月移転）	1,045	1,045
職員数	人	20	22	20	20
公用車台数	台	9	11	10	10
水質検査件数	件	30,409	33,058	45,202	33,442
外観検査件数	件	13,981	12,776	12,302	13,791
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	49,821	99,737	116,975	58,447
電気使用量	kwh	55,293	157,338	165,474	87,186
ガス使用量	kg	191	392	500	460
ガソリン使用量	ℓ	6,075	6,671	5,762	6,756
灯油使用量	ℓ	500	-	-	-
廃棄物使用量	kg	473	439	413	394
水道水使用量	m ³	864	804	831	802

V 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【福岡検査センター】

		環境活動計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容	
重点項目	① 浄化槽の普及・啓発	11 条検査	・点検予定業者に維持管理の有無を毎月確認する ・保健所に「無管理一覧表」を持参し、管理指導をお願いする	計画通り実施できたが、「無管理」浄化槽は削減できているものの、下水道等へ接続し廃止された浄化槽が多かったことなどが原因で目標を14%下回った。	引き続き活動計画を実施
	出前講座	・学習指導要領に沿った内容で、全員参加型のプログラムとする ・開催案内は下水道普及率を考慮する	出前講座及び水辺教室を問題なく、計画通り実施できた。 出前講座（小学校）24校、出前講座（一般）1会場 水辺教室（小学校）9校　水辺教室（一般）1会場	引き続き活動計画を実施	
	環境フェア	・オリジナルトイレットペーパー等、啓発グッズを配布する ・浄化槽模型やパソコンクイズ等を用いて啓発を行う	活動計画通り実施できた。 八女市1会場　嘉麻市1会場　飯塚市1会場 大川市1会場　久留米市1会場	引き続き活動計画を実施	
	適正管理推進事業	・商業施設において、福岡県広報部長エコトンを活用した街頭キャンペーンを実施する	上半期のみの実施となったが、各会場において効果的に活動計画通り啓発ができた。	引き続き活動計画を実施	
		・筑紫保健所管内2巡目実施への取組 ・嘉飯山地区実施への取組 ・久留米市受検動員への協力	活動計画通り実施できた。	継続的な11条検査受検動員の推進を図る	
	スクリーニング検査の削減	発生率が10%以上の事業者を抽出、発生率が高い要因を調査し改善策を講じる	発生率が10%の事業者は無かったことから、受検依頼数の多い事業者へ適切な採水時期等の提案を行い、複数業者に対応して頂けたことなど、発生率削減に努めた。	引き続き活動計画を実施	
	「無管理」浄化槽の削減	「無管理」率が高い予定業者に対し「7条検査予定一覧表」を持参し早期の維持管理契約をお願いする	7条検査実施時の「無管理」率は、筑紫7.4% 宗像・遠賀17.9%であったが、計画通り削減策を行った結果、「無管理」浄化槽を削減できた。	引き続き活動計画を実施	
	③ 浄化槽に関する最新の知見・情報の提供	指定採水員指定講習会（更新）兼浄化槽技術研修会	・受講者ニーズの把握 ・毎年同会場で開催 ・カリキュラムの検討	計画通り開催し、受講者満足度の目標を達成できた。	引き続き活動計画を実施
	BOD超過原因調査	選定計画や実施計画表を作成し、目標達成に努める	計画通り実施し、調査を行った3件中、2件の水質を改善することができた。	引き続き活動計画を実施	
	調査研究	・破損しやすい浄化槽について ・BOD詳細調査の追跡調査 ・植種原液の安定供給 ・調査の中から発表を行う	計画通り実施し、法定検査課2題、水質検査課1題の調査研究を行った。水質検査課の調査研究は、九州地区浄化槽検査員研修会で発表を行った。	法定・水質各1事例の調査研究調査の中から発表を行う	
環境負荷項目	二酸化炭素排出量	土地の取得	土地売買契約の合意が成立した。	省エネ設備の検討	
	電気	・昼休憩時の消灯 ・早朝の外気を取り入れ館内の熱気を除去し、冷房負荷を低減する	役員室を会議専用にし、電力削減に努めた。（H30.7～H31.3）	引き続き活動計画を実施	
	ガス	効率的に検査を行うことで可能な限りガス消費量を抑える	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	
	ガソリン	検査及び出前講座などで公用車を使用する場合は、効率的なルート編成及びアイドリングストップ等を実施してガソリンの消費量を抑える	計画通りに実施できたが、目標値を5%増加した。また、計画外でエコカー1台を購入した。	引き続き活動計画を実施	
	廃棄物排出量	・給湯室ゴミの減量（粉末茶を利用することにより茶殻を削減する） ・プリンタートナー及びびんクの回収される商品を購入 ・紙類の資源化徹底（封筒の剥離紙、タックシールの裏紙の資源化） ・結果書等を連帳用紙からA4用紙へ変更することにより、連帳用紙の耳の廃棄分を削減	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	
	水使用量	・土地の取得 ・日常的に節水を心掛ける事で水使用量を抑制	土地売買契約の合意が成立した。 計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	
	化学物質の適正管理	・保管場所の明確化 ・使用量の把握	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	

【筑後検査センター】

重点項目	① 浄化槽の普及・啓発 ② 適正な維持管理の推進	環境活動計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容	
		11条検査	・各保健所と久留米市へ更なる無管理浄化槽への指導を促す ・7条検査時に無管理の情報を保守点検予定業者へ情報提供したものについて、契約状況の確認を実施する ・久留米市については、研修会等において啓発を行う	保守点検予定業者に提供した無管理の情報について、その後の契約状況を確認した結果、59件中41件が維持管理契約がなされていた。今後も保健所等の指導状況を確認するとともに必要に応じて指導の要請を行うこととする。	引き続き活動計画を実施
		出前講座	出前講座の応援要請に対応する	応援要請に適切に対応できた。	引き続き活動計画を実施
		環境フェア	環境フェアの出展要請に対応する	出展要請に適切に対応できた。	引き続き活動計画を実施
		適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	適正管理推進キャンペーンの応援要請に対応する	応援要請に適切に対応できた。	引き続き活動計画を実施
		スクリーニング検査の削減	発生率の高い事業者については、原因を調査する	発生率が10%以上の事業者10社を対象に聞き取り調査を実施し、必要なアドバイスを行ったが、目標値については達成できなかった。	発生率の高い事業者へ詳細調査を通じて担当者との意見交換や採水器の活用、水質改善策を提案する。
		「無管理」浄化槽の削減	・新規浄化槽設置者用のDMに維持管理の必要性について分かりやすい資料を追加する ・保健所に検査結果書を持参する際、「無管理の指導状況」を確認する。併せて、管理指導をお願いする。	保健所等に対し、「無管理の指導状況」の確認、「無管理浄化槽とその後の追跡内容」について情報提供を計画通りに行ったが、目標値については達成できなかった。	保健所、久留米市へ無管理浄化槽とその後の追跡調査について情報提供を行っているが、更なる指導徹底の要請を行う必要がある。
		BOD超過原因調査	年度当初に調査物件調査を選定し、調査を行う。また、成果が出ない物件については、別の物件も併せて調査する。	調査を行った9件中、4件の水質を改善することができた。	引き続き活動計画を実施
環境負荷項目	二酸化炭素排出量	調査研究	・処理方式別のT-N及び処理方式毎の差 ・保冷剤の効果について ・効果的なスラム搬出方法	計画通り実施し、法定検査課2題、水質検査課1題の調査研究を行った。	引き続き活動計画を実施
		電気	・屋休憩時の消灯 ・外灯の点灯時間の短縮（タイマー調節）	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施
		ガス	・容器乾燥室の適正管理 ・エアコン稼働出力の抑制	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施
	ガソリン	エコドライブの推進	計画通りに実施できたが、目標値を9%増加した。	検査機数の増加及び収集業務を一部職員が行うことによる業務量増加が原因であることから、次年度については現実に即した目標数値に見直すこととしたい。	
	廃棄物排出量	・紙類の廃棄量削減 ・廃棄物の適正管理と資源化の推進	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	
	水使用量	・日常的に節水を心掛け、水使用量を抑える ・純水の有効活用	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	
	化学物質の適正管理	・適正管理の推進 ・保管場所の明確化 ・使用量の把握	計画通りに実施できた。	引き続き活動計画を実施	

【筑豊検査センター】

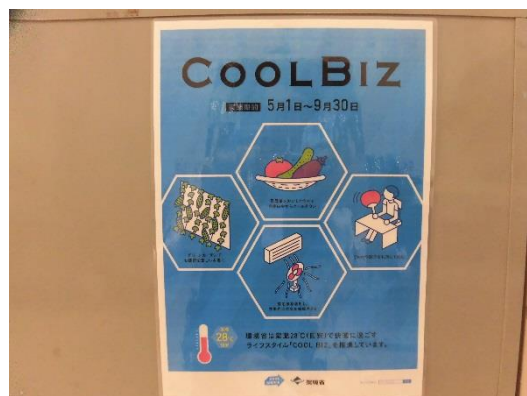
重点項目	① 浄化槽の普及・啓発 ② 適正な維持管理の推進	環境活動計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容	
		11条検査	・無管理浄化槽の管理者へ検査結果書を送付する際、保守点検業者への連絡先も同封する ・保守予定業者へ無管理リストを送付する ・留守用文書に保守点検予定業者の連絡先を記載する ・管轄の保健福祉環境事務所に情報を提供し、受検指導を行ってもらう	「無管理」浄化槽管理者への維持管理の説明や予定業者への情報提供、管轄の保健所と協力しながら「無管理」浄化槽の削減に努める。	引き続き活動計画を実施
		出前講座	出前講座の応援要請に対応する	応援要請が無かったため未実施。	引き続き活動計画を実施
		環境フェア	環境フェアの出展要請に対応する	出展要請に適切に対応できた。	引き続き活動計画を実施
		適正管理推進事業 (適正管理推進キャンペーン)	適正管理推進キャンペーンの応援要請に対応する	応援要請に適切に対応できた。	引き続き活動計画を実施
		スクリーニング検査の削減	・詳細調査を行う ・発生率の高い業者への聞き取り調査を行う	発生率が10%の業者に対して引き続き、詳細調査を実施して、改善提案等を行う。	引き続き活動計画を実施
		「無管理」浄化槽の削減	・7条実施前にできる限り点検予定業者に契約確認の上実施知る ・主なハウスメーカーに変更届、保点契約の必要性の説明を行う	保健所へ引き続き無管理浄化槽の情報提供と管理指導をお願いする。住宅販売業者に変更届、点検契約の必要性を説明して「無管理」浄化槽の削減に努める。	引き続き活動計画を実施
		BOD超過原因調査	1人年間2事例程度実施する	調査を行った8件中、5件の水質を改善することができた。	引き続き活動計画を実施
	調査研究	・検査員の安全対策及び検査における工夫について ・維持管理業者の道具について ・生物ろ過槽底部のDOと処理水の関係について	計画的に調査を実施することができた。	引き続き活動計画を実施	
環境負荷項目	二酸化炭素排出量	電気	・就業時間外のエアコン10分/日削減 ・無人時の消灯徹底 ・定期的なエアコンフィルターの清掃	計画的に電気の使用を抑制できた。	引き続き活動計画を実施
		ガス	検査件数増加が見込まれているので、効率的に検査を行うことでガス消費を可能な限り抑える。	計画的にガスの使用を抑制できた。	引き続き活動計画を実施
		ガソリン	検査件数増加が見込まれているので、ガソリン消費を可能な限り抑える。	計画的にガソリンの使用を抑制できた。	引き続き活動計画を実施
	廃棄物排出量	・紙類の再利用を推進する ・事業系廃棄物の減量化に努める	計画的に廃棄物の排出抑制と資源化ができた。	引き続き活動計画を実施	
	水使用量	・検査用の水使用量削減を更に検討し実行する。	計画的に水の使用を抑制できた。	引き続き活動計画を実施	
	化学物質の適正管理	・適正管理を行う	計画的に化学物質の適正管理をすることができた。	引き続き活動計画を実施	

環境活動の紹介（写真）

【節電の掲示】



【クールビズの掲示】



【節水の掲示】



【ゴミの分別】



【リサイクル（シュレッダー）】



【エアコンフィルターの清掃】



【コピー用紙の再利用】



【薬品漏出時の対応訓練のようす】



地域清掃活動の紹介



当協会は、環境月間である6月と浄化槽の日の10月の毎年2回、積極的に環境の保全に関する意識を高めるために、各検査センター周辺の清掃活動を行っています。

今後も美しい環境づくりのために清掃活動を続けていくこととしています。

ボランティア活動の紹介



昨年7月に発生した西日本豪雨で、当協会の職員が、被災された家屋の片付け等のボランティア活動を行いました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

環境学習の紹介

【ハウステンボス内の環境施設の見学】



11月19日（日）職員旅行としてハウステンボスに行った際に、環境施設の見学をしました。
ハウステンボスには高度な技術を駆使した「下水処理場」やエネルギーシステムである「コ・ジェネレーションシステム」があります。

ハウステンボス内で使用された水は、すべて「下水処理場」で浄化し再利用され、また、発電時に発生する排熱を「コ・ジェネレーションシステム」で新たに熱源を作り出し、冷暖房などに活用しているそうです。

【シャボン玉石けん株式会社の工場見学】



11月29日（木）シャボン玉石けん株式会社の工場見学をしました。

シャボン玉石けんは、昔ながらの製法で作られている無添加石けんで、酸化防止剤や着色料などを使用していないお肌にやさしい石けんです。また、石けんは排水として海や川に流れると水と二酸化炭素に生分解されますが、石けんカスも微生物や魚の餌となり、環境にやさしいのが特徴だそうです。

また、工場見学では、石けんの作られ方や商品になるまでの行程を見ることができ、とても有意義な時間となりました。

【北九州エコタウンの見学】



同日、エコタウンセンター内の展示、次世代エネルギーパークの見学及び有限会社 KARS、株式会社エコウッドのリサイクル工場の見学をしました。

北九州市は、1901 年に日本の近代産業の四大工業地帯の一つとして日本の高度成長を支えてきましたが、その一方で、深刻な産業公害をもたらしていました。

この公害問題に対して、市民・企業・自地体が一体となって取り組み、公害を克服してきました。その経験を活かして現在は環境国際協力を行っており、国際的にも環境改善のモデルとして高く評価をされている環境都市になります。

その中で私たちは、北九州市のエコタウン事業の取り組みの中で、空き缶のリサイクルを行っている有限会社 KARS 及び建築現場や工場等から排出される排木材と不要材料として出た廃プラスチックを配合したリサイクルを行っている株式会社エコウッドのリサイクル工場を見学し、とても貴重な体験となりました。

【プラスチックリサイクル工場視察】



2月28日（木）新宮町のプラスチックリサイクル業者である新興産業(株)の福岡工場を視察しました。新興産業(株)では、買い取ったプラスチック廃材（車のバンパー、ペットボトルキャップ、ハンガー等）を破砕、洗浄、溶融等の工程を経てペレットに加工した後、再生原料として販売を行っています。

当協会では、不要となったプラスチックの1L容器およそ13,000本、重量にしておよそ1トンを買っていただきました。廃プラスチックを産業廃棄物として排出するのではなく、リサイクルしてもらうことで環境への負荷を減らすことができました。

Ⅵ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	適用される事項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正管理
下水道法	排水基準遵守、排水測定
水質汚濁防止法	排水基準遵守、排水測定
毒物及び劇物取締法	責任者選任・保管・表示義務・廃棄方法の遵守
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の再資源化の促進、使用済自動車の 引渡義務、預託義務
フロン類の使用の合理化 及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	簡易定期点検・廃棄方法の遵守
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	廃棄方法の遵守
浄化槽法	保守点検・清掃・法定検査の契約、 排水基準の遵守

平成31年3月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

Ⅶ 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境経営及び活動状況の評価

(1) ガイドライン2017年版への移行

昨年は、EA21 ガイドライン2017年版への移行を行い、「環境経営」へと新たな一歩を踏み出しました。

環境経営方針には、従来からの環境負荷項目の他に、新たに協会の事業である「浄化槽の普及啓発」「浄化槽の適正な維持管理の推進」「浄化槽に関する最新の知見・情報の提供」を重点項目として取り入れ、職員全員に周知しました。

(2) 上半期終了時点での取組評価を実施

これまでは、1年間の取組終了時点のみで評価していましたが、上半期の活動状況がまとまった時点で中間評価を行う取り組みを取り入れることで、下半期の取組の参考にすることができました。

(3) 事務局・福岡検査センターの建て替えのための用地を取得

念願であった事務局・福岡検査センターの建設用地を取得できました。今後は建物の機能、規模の他、環境負荷削減に貢献できる基本計画の立案を進める予定です。

(4) 環境経営の評価

概ね目標達成できました。

① 重点項目の評価

一部の重点項目が目標未達成となりました。項目毎に課題を整理する必要があります。

② 環境負荷項目の評価

業務量の増加に伴いガソリン使用量が目標未達成となりました。次年度は実態を踏まえた目標を設定して下さい。

2. 内部監査の見直し結果について

当協会は100人未満の組織ですが内部監査を採用してきました。内部監査の結果では、ほとんど指摘事項がない状況が続いており、このような場合は、MS（マネジメントシステム）に無駄な非効率が発生している可能性があるとも言われています。この様なことから、ガイドライン2017年版が求めている内部監査のやり方を見直すよう指示しました。

検討会ではPDCAサイクルを進めて行くには何らかのチェック作業が必要であるとの結論に至り、内部監査に用いるチェックシートが決定しました。この検討過程で記録の検証や目標値の妥当性の評価・検証等の必要性が協議されたことは、今後のMSのスパイラルアップにつながっていくものと考えています。

3. 見直しと指示

昨年、EA21 ガイドライン2017年版に移行しましたが、すでに多くの企業が、2015年に国連が採択した「SDGs（持続可能な開発目標）」に積極的に取り組む活動を始めています。この動きを新たなチャンスと捉え、

- ① 国の施策に沿ったCO2 排出量の削減に有効な浄化槽の導入推進
- ② 人生100年時代を見据えたワークライフバランスの実現

に寄与するため、下記を環境経営計画に2つの項目を追加してください。

- ① 環境省が実施する省エネ型浄化槽システム導入推進事業を推進する
（環境経営目標）申請受付数を設定する
- ② 働き方改革の主旨に沿った「ノー残業デー」を推進する
（環境経営計画）実施回数を設定する（実施可能な部署のみでもかまわない）

令和元年7月8日

環境マネジメント責任者 山本 直隆